

23 期への申し送り事項

22 期学術の大型研究計画検討分科会

1. 22 期までの分科会活動を検証した上で、各方面の期待に応え得るマスタープラン 2017 を策定することを期待する。
2. マスタープランとロードマップとの関係や大型研究計画に関する日本学術会議と関係府省との連携の在り方について、検討されることを期待する。
3. 過去のマスタープランに掲載され、かつ財源が確保されて実施中の計画の扱いについて、検討されることを期待する。
4. マスタープランが策定する計画の規模や形態について、検討されることを期待する。
5. 複数分野に関わる大型研究計画の策定を促進する方策を検討されることを期待する。

(参考資料)

文部科学省ロードマップ 2014 で採択された 10 課題について

(1) 重点大型研究計画 26 課題^(注)にもとづき、文部科学省は「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定－ロードマップ 2014－」10 課題を採択したが、その内 8 課題は重点大型研究計画策定時の評価において上位 10 位以内に入る課題であった。よって、評価基準が若干異なることを鑑みれば、ロードマップの課題選定の結果は概ね妥当であると考えられる。図 1 に、ロードマップとして採択された 10 課題と、重点大型研究計画課題の評価順位関係を示す。

(注) 本来は 27 課題であるが、1 課題については、提案者からの評価対象辞退の申し出等によりロードマップ審議の対象外となった。

(2) 採択された 10 課題の内 6 課題は、当該分野別大型研究計画評価分科会において 1 位 (2 課題が選定された分野については 1,2 位) の評価であった。また、1 課題については当該分野別大型研究計画評価分科会における 2 位の課題が採択された。3 課題が採択された分野については、2 課題は分野別大型研究計画評価分科会の評価が上位であった。

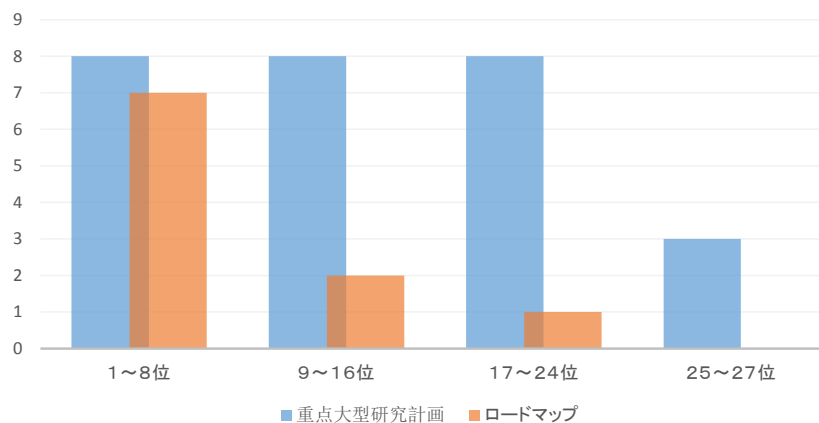


図 1 重点大型研究計画課題 (青) の評価順位と、ロードマップ採択課題 (橙) との関係。